

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これを生かした「歴史まちづくり」の取り組みを進めています。町や地域が行うこの取り組みについて、毎月お伝えしていきます。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】

800年前の合戦がよみがえる 阿津賀志山防塁第21次発掘調査結果

国見町では、日本史上欠かすことの出来ない重要な史跡「阿津賀志山防塁」の保存・整備を目指した発掘調査事業を平成20年度から進めています。

第21次調査は、6月19日から8月10日の予定で、下二重堀地区（西大枝）で初となる発掘調査を実施しました。

4本の試掘で、堀と土塁の痕跡を確認し、800年前の合戦に使われた当時の様子が明らかになりました。堀は、幅4.2m、現地表面からの深さ1.8m。土塁は、幅7.2m、堀底からの高さ3.4mを誇ります（2号トレンチの成果）。外堀は、堀底にかけて斜面が急角度になり、這い上がることが難しい形状であることが分かりました。東北を守るための戦いに備え、防衛性を高める工夫がなされています。



阿津賀志山防塁の断面イメージ図

石のまち国見 Presents ロック 石工フェス in 石蔵 2017 開催決定！



◀国見石の石窯で作るピザの味は格別！
▼石工体験に夢中の子もたち

昨年のロック石工フェスの様子



試掘された外堀と土塁

解説

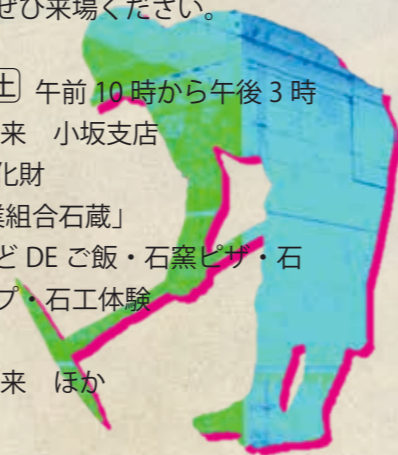
阿津賀志山防塁は、文治5年（1189年）の源頼朝率いる鎌倉軍による奥州侵攻を防ぐため、奥州藤原氏により東北の総力をあげて築かれた3.2kmの長大な要塞施設です。6ヵ月以上の時間をかけ、のべ25万人が動員されて造られたと推定され、まさに東北の守りの要でした。両軍数万もの軍勢が対峙し、国見町は文治5年、奥州合戦における最大の合戦が行われた場所となりました。

奥州藤原氏滅亡と鎌倉幕府成立への大きな歴史的な転換点となった戦いが国見での戦いです。

隣接する中尊寺蓮池とともに今後、史跡公園としての整備を進めます。

昨年、好評いただいたロックフェス！今年も開催が決定しました。地域に眠る国見石の魅力を学ぶだけでなく、体験・体感のワークショップを予定しています。ぜひ来場ください。

- ◇日時 9月9日(土) 午前10時から午後3時
- ◇会場 JAふくしま未来 小坂支店
国登録有形文化財
「旧小坂村産業組合石蔵」
- ◇内容 講演会、かまどDEご飯・石窯ピザ・石ワークショップ・石工体験
- ◇協力 郡山女子大学
JAふくしま未来 ほか



会長に朽木勝之委員 農業委員会新体制スタート

～農業委員の改選・農地利用最適化推進委員の新設～

町農業委員会委員辞令交付式が7月20日、国見町役場で行われ、太田久雄国見町長より8名の農業委員に辞令が交付されました。前任までの農業委員は選挙及び推薦制で選出されていましたが、農業委員会等に関する法律の改正により、今回から推薦・公募を実施したうえで農業委員候補者を選考し、議会の同意を得て、町長が任命する制度に変更されました。

辞令交付後、農業委員会臨時総会が開催され、会長に朽木勝之委員(再任)、会長職務代理者に渋谷福重委員(新任)が選出されました。

農業委員会は、農地法に基づく売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申、担い手への農地利用の集積・集約化の促進、遊休農地の調査・指導など農地等の利用の最適化の推進を図ることを目的とする行政委員会です。委員は特別職の地方公務員となります。

今回の改選では、法改正により、委員の過半数が認定農業者であることと、農業委員会事務に利害関係を有しない中立委員が選任されています。委員の任期は平成29年7月20日から平成32年7月19日までの3年間です。

また、法改正により「農地利用最適化推進委員」が新設されました。担当地区をもち、農業委員と連携して農地利用の最適化の推進(担い手への農地利用の集積・集約化の促進、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)の現場活動を行います。

町では農業委員同様に、推薦・公募を行い、農業委員会における選定を経て、7月20日に11名が農業委員会から委嘱されました。任期は農業委員と同様の3年間です。



太田町長から辞令交付を受ける朽木委員

農業委員	(敬称略)	任期
朽木 勝之 (小坂)	10期目	
渋谷 福重 (光明寺)	6期目	
八島 富一 (山崎)	4期目	
佐藤 浩信 (徳江)	3期目	
鈴木 恵子 (川内)	2期目	
佐久間久子 (森山)	2期目	
斎藤 紀次 (山崎)	1期目	
佐藤 武 (石母田)	1期目	

推進委員と担当地区	(敬称略)
秦 正徳	藤田・山崎
齋藤 光弘	石母田
赤坂 齋	鳥取・内谷
黒田 武	小坂・泉田
佐藤 正春	森山
八巻 信詞	徳江・塚野目
菊地 信七	
吉田 和男	貝田・光明寺
高橋 一博	高城
阿部 亨	大木戸
井砂 秀明	西大枝・川内

退任委員に感謝状



太田町長から感謝状が贈られたみなさん

7月19日に任期満了により退任する農業委員11名のこれまでの功績を讃え、7月13日、国見町役場で太田久雄国見町長から退任委員のみなさんに感謝状が贈呈されました。

退任委員	(敬称略)
斎藤 一郎 (森山) 2期	菊地 信七 (塚野目) 1期
玉手 忠七 (西大枝) 4期	黒田 武 (泉田) 4期
菊地 顯一 (石母田) 4期	志村 孝明 (高城) 2期
村上 義敬 (徳江) 2期	秦 二三男 (藤田) 2期
松浦 万助 (大木戸) 4期	佐久間利信 (藤田) 3期
仲野 博行 (泉田) 2期	

鳥獣被害対策連絡協議会を開催

町の鳥獣被害防止対策の在り方等を検討する場として設置した国見町鳥獣被害対策連絡協議会が7月3日、国見町役場で開催されました。

会議では鳥獣被害の現状と課題や効果的な被害防止対策などについて協議し、委員からは町鳥獣被害対策実施隊員の育成についても意見が出されました。町は今回の協議内容を今後の対策に生かし、鳥獣被害防止の取り組みを推進していきます。



近年はイノシシによる被害も多発